

大谷大学公開講演会

2024年度共通テーマ「学び、続ける。」

山形支部

講題 **学び、続ける**

—親鸞聖人の晩年における思想の深化—

2024年 **8月1日(木)**
14:30～16:30



※入場無料・事前申込不要

※14時～14時20分まで支部総会になります。

講演概要

親鸞聖人は90年の生涯にわたって最後まで問い続け、学び続けた非常に息の長い思想家です。特に、84歳で長男善鸞を義絶するというつらい出来事を経験された後、85歳から86歳という最晩年に執筆活動が盛んになり、その他力思想が一層の深化を遂げているのは驚くべきことです。この講演では、晩年のお手紙や法語において「本願を信じ念仏もうすものは、如来とひとし」とまで強調される「現生正定聚」の思想について、その歴史的・思想的背景を確かめながら考えてみたいと思います。

講師 **井上 尚実** いのうえ たかみ 大谷大学教授

会場 真宗大谷派山形教会

山形市木の実町 9-26

対象 どなたでも、ご聴聞頂けます。

問合せ 山形支部事務局 担当：水澤孝秀

TEL 080-5843-6733

主催 大谷大学・大谷大学同窓会山形支部

【講師プロフィール】

1959(昭和34)年11月	長野県に生まれる
1984(昭和59)年3月	京都大学文学部卒業(哲学科仏教学)
1984(昭和59)年4月～1989年(昭和64)3月	長野県立岡谷南高等学校英語科教師
1991(平成3)年3月	大谷大学大学院修士課程修了(仏教学)
1994(平成6)年3月	カリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院修士課程修了(宗教学)
1995(平成7)年12月	同上博士課程 博士論文提出資格取得
2003(平成15)年4月	大谷大学専任講師
2010(平成22)年4月	大谷大学准教授
2010(平成22)年9月	カリフォルニア大学博士(宗教学)〈学位取得〉
2016(平成29)年4月	大谷大学短期大学部教授
2018(平成31)年4月	大谷大学文学部教授

【専門】真宗学(仏教学・宗教学)

【著書】『隠れ動く死と生—宗教と合理性のはざま—』(共著 関洋書房, 2009)
『はじめて読む正信傳』(編著 東本願寺出版, 2022)

【論文】

「六角堂聖告 再考」
「ただ念仏」の原型—『スッタニパータ』『彼岸道品』に翻される念仏と信心—
「普遍宗教としての浄土真宗—無量の輪を平等に分ち合う思想—」
「現生正定聚と浄土の慈悲(1)—『最後の観業』に学ぶ—」
「法の現れに入ること—現生正定聚の學問としてのソーターバナ—」
「[群萌]あるいは『納飛蟻動之類』—平等で多様な(弱きもの)の運命へ—」
「現生正定聚と浄土の慈悲(2)—重なり合う「証」—」
「費望の中軸能的世界—本願力開向と他利利他の深義—」

1. 大谷大学・大谷大学同窓会では、毎年統一テーマを設定し、全国約80カ所で公開講演会を開催しています。
2. 天候等により、開催を中止する場合がございます。開催中止の場合は、同窓会ホームページでお知らせいたします。

大谷大学同窓会

検索



Be Real
寄りそう知性



大谷大学